



千葉県議会 児童・生徒表彰

学芸およびスポーツの国際大会または全国大会で
最優秀の成績を収めた児童・生徒107名、32団体が
表彰されました。（受賞者一覧は3面に掲載）



「ちば高校生県議会」の参加者募集

現役議員との意見交換や模擬選挙等を行う「ちば高校生県議会」を開催します。
参加する高校生を募集しますので、ぜひお申し込みください。

〔日時〕7月28日（月）10時～15時30分ごろ 〔募集〕30人
〔場所〕千葉県庁議会棟 〔申込方法〕ちば電子申請サービスから申し込み
（本千葉駅から徒歩8分） 〔問い合わせ〕議事課 043-223-2515
※詳しくは『ちば高校生県議会募集』で検索または『千葉県議会ホームページ』をご覧ください。

代表質問

1月29日 水



自民党 三沢 智 議員（館山市）

- 知事の政治姿勢
- 介護人材の確保
- 県立病院
- 農林水産業の振興
- 家畜伝染病対策
- 県内の幹線道路ネットワーク



立憲民 守屋 貴子 議員（市川市）

- 職員の適正配置
- 発酵を活用した千葉の魅力発信
- バリアフリーの推進
- 地球温暖化対策
- 第11次千葉県職業能力開発計画
- 教育問題

1月30日 木



公明党 篠田 哲弥 議員（松戸市）

- SDGsの推進
- 戦後80年・平和への取り組み
- 不登校児童生徒への支援
- SNS誹謗中傷対策
- 一般廃棄物処理業務における適切な価格転嫁
- 2024年問題



千政団 水野 友貴 議員（我孫子市）

- 東葛北部医療圏における小児科医不足対策
- 行財政改革
- JR成田線の利便性向上
- 生理用品の無償提供
- 手賀沼および印旛沼における諸課題
- 企業誘致

1月31日 金



共産党 加藤 英雄 議員（柏市）

- 4年間の県政運営
- 2025年度予算案への提案
- 避難所の環境整備
- 訪問介護事業および国民健康保険
- 県営水道の値上げ
- 教員未配置解消と教員の処遇改善

質問項目は、主な項目を掲載しています。

その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。 [千葉県議会](#) [質問項目](#) [2月](#)

No.188

★ちば

県議会 だより

県議会は、年に4回（2月、6月、9月、12月）定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

〔発行〕千葉県議会
〔編集〕千葉県議会事務局政務調査課
〒260-0855
千葉市中央区市場町1-5
TEL 043-223-2523
FAX 043-222-4073



千葉県議会

2月定例会県議会のあらまし

2月定例会県議会は、1月23日に招集され、2月25日までの34日間に行われ開会されました。

開会日には、議長の諸般の報告に続き、令和7年度一般会計予算等の議案79件、報告3件が上程され、知事から提案理由説明と県政の当面する諸問題について報告がありました。

1月29日から7日間にわたり行われた代表質問および一般質問は、21名の議員が登壇し、財政問題をはじめ、防災対策、福祉、道路、教育問題等について活発な議論が展開されました。

2月6日には、議案3件が追加上程され、知事から提案理由説明がありました。

さらに、2月10日から3日間にわたり、予算委員会が開催され、令和7年度予算議案について活発な議論が展開されました。

各常任委員会では、2月14日から4日間にわたり開催され、付託された議案・請願について、具体的・専門的な審査が行われました。

閉会日には、各常任委員会委員長および議会運営委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、議案および発議案については原案のとおり可決・承認されました。

その後、追加上程された人事案件30件が同意され、続いて、議員発議案15件（決議1件、意見書14件）のうち決議1件を可決し、今定例会に付議された全ての案件の審議を終了しました。

令和7年2月定例会県議会の概要（会期日程、議案・発議案の賛否一覧等）は千葉県議会ホームページに掲載しています。



4月臨時県議会より

◆可決・承認・同意された議案

◆条例の一部改正

▽千葉県立都市公園に係る移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例

◆その他（4件）

▽専決処分の承認（3件）

▽副知事の選任同意

会派等別議員数

会派等名	略称	議員数
自由民主党千葉県議会議員会	自民党	51人
立憲民主党千葉県議会議員会	立憲党	14人
公明党千葉県議会議員団	公明党	8人
千葉新政政策議員団	千政団	5人
日本共産党千葉県議会議員団	共産党	4人
平和の党	平和党	1人
国民民主党千葉県議会議員会	国民	1人
千葉県民の声	県民声	1人
北総ダッシュの会	北総ダ	1人
リベラル民主	リベ民	1人
市民ネットワーク	市民ネ	1人
市民力	市民力	1人
有志の会	有志	1人
野田民主の会	野田民	1人
無所属議員	無所属	3人

定数95人 現員94人

（令和7年4月18日現在）

4月臨時県議会のあらまし

4月臨時県議会は、4月18日に招集され、熊谷知事から2期目の就任に当たり、あいさつがありました。

その後、議案4件、報告1件が上程され、知事から提案理由説明があり、所管の常任委員会（総務防災・健康福祉・農林水産・県土整備）に付託されました。

本会議再開後、各常任委員会委員長の審査結果報告、討論が行われ、採決の結果、原案のとおり可決・承認されました。

続いて、副知事の選任同意の人事案件1件が同意され、今臨時会に付議された全ての案件の審議を終了しました。

代表質問から

成田空港

「エアポートシティ」実現のための現在の取り組み状況はどうか。

県では、1月24日に四者協議会を開催し、首都圏の旺盛な航空需要を取りこぼさないため、令和7年10月以降成田空港の年間発着枠を30万回から34万回に拡大することや、エアポートシティ形成を推進していくため、令和7年4月に県と空港会社により新たな組織を立ち上げることについて合意した。

さらに、この新たな組織では、地域として目指すべきビジョンやゾーニング、優先的に取り組むべき事業などについて、民間事業者の知見も取り入れながら検討を進めていくこととした。

県としても、産業拠点形成に向けた事業手法や魅力的なまちづくりに関する調査検討事業を実施することにも、国や空港周辺市町との合意形成など、新たな組織の活動を支えるさまざまな取り組みを推進し、成田空港を核とした産業拠点の形成を進めていく。

併せて、北千葉道路の整備や圏央道への地域活性化インターチェンジの設置等により、さらに利便性が高まる広域ネットワークなどを通じて、県経済の発展につなげていく。

成田新産業特別促進区域基本計画」を変更した狙いと、計画変更を踏まえた今後の取り組み方針はどうか。

県および空港周辺9市町では、令和5年3月、地域未来投資促進法に基づく基本計画を策定し、集積を目指す産業として「物流」を設定するとともに、同法の弾力的活用を生かすことで、民間事業者による2件の大型国際物流拠点の開発表明につなげた。

こうした民間投資をさらに促進し、わが国の国際競争力の強化につなげていくため、令和6年12月、同計画を変更し、空港の特徴や強みを生かせる分野として、「精密機器」「航空宇宙」「健康医療」「農業」「観光」の5つを新たに追加した。

令和7年度は、この変更を踏まえ、まずは特に空港との親和性の高い「航空宇宙関連産業」の集積に向け、

調査・研究を行うとともに、空港周辺地域への企業誘致や産業拠点形成の取り組みを強力に推進していくための組織体制も充実することとした。

今後、成長分野への企業立地促進に向けて拡充する補助制度なども活用しながら、国内最大の貿易港である成田空港を核とした国際的な産業拠点の形成に向け、全力で取り組んでいく。

企業誘致

立地企業補助金の制度改正の内容はどのようなものか。また、補助金を活用し、具体的にどのような企業誘致を進めていくのか。

今回の改正内容は、まず、成田空港や東京湾アクアライン着岸地周辺地域、北千葉道路沿線地域など、将来の県経済をけん引することが期待される地域において、成長が見込まれる産業分野の工場や研究所が新たに立地する場合には、補助の上乗せを実施する。

一方で、人口減少が進むなど、地域活力の維持・向上が喫緊の課題となっている地域については、敷地面積や事業従事者の補助要件を緩和することにより、これまで以上に幅広い投資を呼び込む。さらに、賃借での立地を一層促進するため、補助対象を拡大し、本社や研究所に加え、一定規模以上の事業所も補助対象とする。

次に、新たに立地する企業に対し、従業員の県内観光や県産品等の消費を促す福利厚生費への補助を創設し、人材の確保を支援するとともに、従業員の皆さまに対しても本県への愛着を深めることにより、中長期的な企業の定着を図っていく。

その他、産業用地整備に係る市町村支援についても、労務単価や物価の上昇を考慮するとともに、より大規模な開発にも対応できるよう、補助限度額を引き上げることにより、不足している産業用地の一層の整備促進を図っていく。

これらの改正により、千葉県を立地場所として選んでいただくインセンティブとしての機能をさらに強化し、地域特性に合わせた企業誘致を推進していく。

具体的には、知事自身が県の魅力をPRする企業誘致セミナーなど、情報発信の取り組みを強化するとともに、金融機関や不動産事業者などの関係機関への訪問等を重ね、協働体制の一層の強化・構築を図っていくことにより、雇用や税収効果の高い、将来の本県を担う企業の誘致につなげていく。

県立病院

県立病院の経営改善に向けて、どのように取り組んでいくのか。

県としては、県立病院の収支が大幅に悪化し、令和2年度に続き、多額の追加貸し付けを要する事態となったことを大変重く受け止めており、収支改善に向けた取り組みの強化が必要であると認識している。

このため、現在策定を進めている「県立病院経営強化プラン」では、医療収益を確保するため、関係医療機関からの紹介や転院連携など、入院患者数の増加に向けた取り組みを強化するとともに、ベンチマークを活用した医薬品等の価格交渉に加え、委託業務の仕様見直しを行うなど、一層の経費削減に努めることとしている。

さらに、こうした取り組みを継続的かつ実効性のあるものとするため、各病院において、経営改善を支える外部人材の活用等による体制強化も検討しているところである。

引き続き、県立病院としての役割を果たしていくため、これらの取り組みを着実に進め、令和14年度の収支の黒字化を目指し、県立病院一丸となって、全力で経営改善に取り組んでいく。

水産業の振興

県では、新規漁業就業者の確保・育成について、今後どのように取り組んでいくのか。

本県の令和5年における漁業就業者数は2672人で、平成30年に比べ約3割減少しており、高齢化も進んでいることから、県では、就業相談会の開催や漁業技術研修の実施などにより、新規漁業就業者の確保・育成を図っている。

また、令和6年1月に「千葉県新規漁業就業者確保・育成対策検討会議」から提言のあった、短期漁業体験などに係る支援の充実や、就業から独立まで寄り添った一貫した支援を行う海洋人材確保・育成センターの設置・運営の経費について、令和7年度当初予算案に計上した。

なお、このセンターの設置については、現在、市町村や漁業関係団体と調整しているところであり、4月から運営が開始できるよう準備を進めていく。

また、検討会議からのこの他の提

言についても施策に反映できるよう検討するなど、引き続き、新規漁業就業者の確保・育成の取り組みを強化していく。

鳥インフルエンザ対応

県内で令和7年1月に発生した高病原性鳥インフルエンザへの対応状況はどうか。

令和7年1月、海浜地域で発生した鳥インフルエンザについては、短期間のうちに立て続けに近接した11農場で発生し、うち8農場の飼育規模は20万羽を超えるなど、今季2例目から12例目にかけての防疫措置の対象は300万羽を超える規模となっている。

この防疫措置については、それぞれの農場において、まずは感染が発生した鶏舎の殺処分を迅速に行うなど、複数の農場において同時並行での作業を余儀なくされるものとなった。

これまで県では体制を強化しながら、延べ1万人を超える職員を動員するなどして作業に当たってきたが、殺処分については自衛隊の多大な協力も得ながら、現在、4農場で終了し、残る7農場についても速やかに作業を完了させていく。

また、殺処分に続いて実施する焼却・埋却の他、鶏舎の消毒作業などの防疫措置についても、一日も早い完了に向け、国、地元市をはじめ農業関係団体や建設業協会、産業資源循環協会等のご協力をいただきながら全力で取り組むとともに、現在実施中の路面消毒の継続、県内の全養鶏農場に対する消毒の徹底や入気口への不織布シートの設置促進などの発生抑止にも万全を尽くしていく。

教育問題

学校が児童生徒の発したSOSを決して見逃さないように、県教育委員会としてどのように取り組んでいくのか。

先の事案において、亡くなられた生徒が発したSOSに対し、学校が組織的に対応できなかった背景には、SOSを受け止める教職員側に、これくらいは大丈夫であろうとの判断があったことに加え、一部の教職員のみで生徒の訴えへの対応を判断するという運用上の問題があった。

これらについて県教育委員会

は、改めて、通知や研修において、小さなサインを積極的に捉えることが重大な事態の防止につながることを、少なくとも二重のチェックを行うこと、何らかの訴えがあるアンケート用紙は、全て管理職が確認することなど具体的な留意点を示した上で、全県立学校に点検を指示し、確認を完了している。

加えて、困難事案については、県教育委員会が速やかに指導主事やいじめ重大事態調査員等を派遣する体制を整えている。また、学校が抱える課題に広く対処する学校問題解決支援コーディネーターを配置する経費を、令和7年度当初予算案に計上したところであり、これらの取り組みを通して児童生徒のSOSを確実に捉え、対応していく。

SNS誹謗中傷対策

県として、SNSによる誹謗中傷の防止に関する啓発や教育など、どのように取り組んでいくのか。

SNSなどの普及に伴い、インターネット上で気軽に自由なコミュニケーションを行うことができるようになった一方で、その匿名性や情報発信の容易さから、特定個人の誹謗中傷、差別を助長する表現の書き込みなど、人権に関わるさまざまな問題が発生している。

このため県では、インターネットを通じて人権侵害の防止について「千葉県人権施策基本指針」に位置付け、個人のプライバシーや名誉に関する正しい理解を深めるため、講座の開催、企業や学校等が行う研修会への講師派遣、啓発DVDの貸し出しなどを行っている。

また、青少年がネットトラブルに巻き込まれないよう、インターネットを利用する際のルールやマナーを理解するためのリーフレットや映像教材等の作成などを行っているところである。

今後、情報モラルやネットリテラシーの向上の取り組みを推進し、SNSなどによる誹謗中傷の防止に努めていく。

小児科医不足対策

東葛北部医療圏における小児科医不足について、今後どのように取り組んでいくのか。

東葛北部医療圏は、小児医療に

小児人口当たりの小児科医師数を基に国が発表した指標によれば、全国303医療圏中236位となり、小児科医が相対的に少ない医療圏として位置付けられている。

そのため、県では、東葛北部医療圏など小児科医が相対的に少ない医療圏にある病院が、県外から小児科医を確保する際に必要な人件費の一部を、令和7年度から新たに支援することとした。

さらに、医師修学資金を利用する医学生が小児科医を目指す場合の加算制度を創設するなど、県内で勤務する小児科医の養成等の強化を図ることとしている。

訪問介護

県内で、ヘルパー不足や必要な介護が受けられない事態が起こっており、県として、原因と打開策についてどう考えているのか。

高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けるためには、地域において必要な介護サービスを提供できる体制を整備することが不可欠である。

ヘルパーの不足等については、全産業平均と比べ賃金が低いこと、特有の知識・技術が求められることなどが要因と認識している。このため、県では、国の補正予算を活用して介護職員の処遇改善等に取り組みるとともに、介護に携わる職員全体のさらなる処遇改善を国に要望している。他、介護職員初任者研修に対する受講料の補助等を行っているところである。

今後も、訪問介護を含む介護人材の確保・育成や、介護サービス基盤の計画的な整備の促進に努めていく。

2月定例会県議会より

可決承認同意された議案・発議案

◆令和7年度予算関係(24件)

▽一般会計
▽特別会計(23件)
◆令和6年度補正予算関係(24件)

▽一般会計
▽特別会計(23件)

◆条例の制定

▽一時保護施設の設定及び運営に関する基準を定める条例
◆条例の一部改正(19件)

▽職員の給与に関する条例等

▽特別職の職員等に関する条例

▽特別職の職員等の給与、旅費及び費用弁償に関する条例

▽千葉県行政組織条例

▽千葉県職員定数条例

▽千葉県県税条例等

▽千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例

▽千葉県立文化会館の設置及び管理に関する条例等

▽使用料及び手数料条例

▽千葉県安心・子ども基金条例

▽幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例

▽介護医療院の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準を定める条例及び無料低額宿泊所の設備及び運営に関する基準を定

◆議案の提出

◆条例の一部改正

可決された決議

▽千葉県県情情報公開条例及び千葉県議会の保有する個人情報保護に関する条例
▽平時と災害時を一体として捉えた防災への取組を推進する決議

2月定例会県議会
各常任委員会の
主な質疑から

総務防災常任委員会

問 高病原性鳥インフルエンザの防疫作業に係る手当額の引き上げを行うとのことだが、手当額の根拠は何か。

答 職員の心身への著しい負担を考慮し、他の作業に係る手当額とのバランスや他団体の状況も踏まえて、獣医師に支給される給料の調整額の平均額を1日当たりの額に換算した額と牛または豚の殺処分を行う場合の手当額の合計額である。

総合企画企業常任委員会

問 令和7年度上水道事業における水道施設等の更新・耐震化や維持管理に係る予算措置状況および収支や資金の状況はどうか。

答 令和7年度当初予算では、水道施設や管路に係る日常的な点検や修繕に必要な予算を確保した他、更新・耐震化の予算については大幅に増額した。

また、さまざまな経費が上昇している中、可能な限り経費節減に努めたことで、収支は辛うじて黒字となる見込みである。

健康福祉常任委員会

問 千葉県いども・若者みらいプランの策定に当たり、子ども・若者の意見をどのように取り入れているのか。

答 計画の策定に当たり、小・中・高校生を対象に、希望する未来像等を聞いたアンケートや、大学生等を対象にしたワークショップなどを実施した。

寄せられた意見としては、「計画名に子どもだけではなく、若者が含まれていることを分かるようにしてほしい」「なごがあり、計画の名称を「こども・若者みらいプラン」とした他、今後設置する計画の推進会議へ子ども・若者が参画することとした。

環境生活警察常任委員会

問 37名の警察官を増員することだが、具体的にどのような分野に配置するのか。

答 増員される37名の警察官については、サイバー空間における対処能力の強化および匿名・流動型犯罪グループに対する戦略的な取り締まり強化のために、主に生活安全部および刑事部に配置し、体制を強化する予定であり、増員の効果を最大限発揮するための運用を図っていく。

商工労働常任委員会

問 立地企業補助金の改正について、上乗せ額の内容はどのようなもので、その効果をどう見込んでいるのか。

また、上乗せする地域以外の地域についても丁寧に企業誘致を進めていく必要があると思うがどうか。

答 上乗せ額について、これまでの補助額に加え、土地に係る不動産取得税額、法人県民税・事業税相当額、自動車税相当額といった法人に係るほぼ全ての県税相当額を1年分補助することを考えている。こうした制度は、自治体でも珍しい制度であるため、実際に企業が千葉県に立地を決定する上で、大きなインセンティブになると考えている。

また、上乗せする地域以外の地域への誘致については、人口減少が進み、雇用の創出や投資の促進による地域活力の維持・向上が喫緊の課題となっている。外房エリアを中心とした32市町村において、令和7年度から、敷地面積や事業従事者などの要件を大幅に緩和し、幅広い投資の支援を行っていくこととしている。

今後とも、補助制度については、全県での経済波及効果が最大化するように企業ニーズを踏まえ弾力的にブラッシュアップしていきたい。

農林水産常任委員会

問 同一地域で高病原性鳥インフルエンザが連続発生したが、このようなま

ん延防止措置を実施したのか。

答 車両の消毒ポイントの設置や路面消毒などに加え、希望した養鶏農家への消毒液の配布や、国と開催した緊急会議で不織布と消毒液を組み合わせた取り組みが紹介されたことを受け、希望した養鶏農家へ不織布を配布した。

県土整備常任委員会

問 埼玉県で発生した道路陥没事故を受けて、今回の緊急点検を実施した管路以外にも、老朽化した下水道管路の速やかな緊急点検と定期点検の一層の強化を図るべきと考えるがどうか。

答 国から要請があった、日量30万立方メートル以上を処理する江戸川第二終末処理場と花見川終末処理場に接続する口径2000ミリメートル以上の管路約76キロメートルについて目視等による緊急点検を実施した。

また、今回の緊急点検の対象外である手賀沼終末処理場と花見川第二終末処理場に接続する口径2000ミリメートル以上の管路約69キロメートルについても目視等による緊急点検を実施しているところである。

下水道法では、腐食の恐れの大きい下水道管路について5年に1回以上の定期点検が定められているが、これ

に加え、本県では独自に敷設後30年経過した管路については5年に1回、それ以外の管路についても10年に1回の頻度で定期点検を実施している。

引き続き、管路の点検を適切に実施すると共に、埼玉県の事故を受けた国の動向に注視しながら対応していく。

文教常任委員会

問 現在、国において、私立高校の就学支援金の拡充が議論されている中で、県立高校の在り方を考える時期にきている。

私学は建学の精神に基づき、特色のある教育を行っており、県立高校としても私学との競争意識を持つて取り組みとともに、私学に学ぶ必要があると考えるがどうか。

答 私立高校の多くは普通科であることから、地域産業を支える産業系の専門学科やコースなどを有する公立高校は、これからさらにしっかりと教育を維持し、地域産業を担う優れた人材を輩出していく必要がある。

私立高校とは、それぞれの良さを生かし、よりよい地域の教育を作っていくことを考えに立ち、千葉県全体の高等学校教育の質の向上のため、相互に協調していくことが目指すべき方向性であると考えている。

4月臨時県議会
各常任委員会の
主な質疑から

健康福祉常任委員会

問 児童相談所の一時保護所の勤務環境の改善について、県はどのように取り組んでいるのか。

答 児童相談所の一時保護所に関しては、設備基準や職員の配置基準等を定めた「一時保護施設の設定及び運営に関する基準を定める条例」を令和7年4月に施行したところであり、今後、さらに児童指導員等の増員を図る予定である。

また、令和5年に人材育成基本方針を策定し、階層別や職種別の研

農林水産常任委員会

問 豚熱対策の取り組み状況や、発生予防およびまん延防止にどのように取り組んでいるのか。

答 県内全ての養豚農家に対して衛生管理の徹底を指導するなど感染防止に努めてきた。引き続き、適切なワクチン接種の推進や、新たに拡充された国の補助事業を活用したイノシン侵入防止対策の強化などに取り組み、発生予防とまん延防止を推進していく。

令和6年度 児童・生徒表彰

千葉県議会では、学芸およびスポーツの国際大会または全国大会で最優秀の成績を収めた千葉県内の学校に在籍する児童ならびに生徒を表彰しております。令和6年度については、以下のとおり表彰しました。

■千葉県議会 児童・生徒表彰受賞者(学芸の部)

	学校(団体)名	氏名	備考
個人	南房総市立三芳小学校	神作 英希	書道
	流山市立市野谷小学校	竹澤 優芽	そろばん
	千葉市立磯辺小学校	浦崎 めい子	俳句
	千葉市立本町小学校	佐藤 希美	そろばん
	千葉市立小中台南小学校	小泉 琥太郎	絵画
	千葉市立坂月小学校	緑川 智哉	手紙作文
	習志野市立大久保小学校	本橋 侑花	短歌
	我孫子市立我孫子第三小学校	茅野 笑彩	書道
	流山市立新川小学校	出井 絢菜	書道
	国府台女子学院小学部	染谷 捺乃	絵画
	千葉市立西の谷小学校	金光 花朋	作文
	流山市立東小学校	寺田 真帆	そろばん
	鎌ヶ谷市立鎌ヶ谷中学校	山崎 菜々	書道
	香取市立佐原中学校	久保木 千尋	絵画
	船橋市立高根中学校	甲斐 心琉	民謡
	流山市立西初石中学校	高嶋 優	そろばん
	流山市立おおぐろの森中学校	阿部 結愛	ピアノ
	香取市立小見川中学校	小山田 歩	絵画
	千葉市立おゆみ野南中学校	山上 結希奈	ポスター
	千葉市立磯辺中学校	石川 くらら	バレエ
	千葉県立柏の葉高等学校	鈴木 玲者	書道
	千葉県立国府台高等学校	向川 こひな	書道
	船橋市立行田東小学校 ※	笹子 明珠	フルート
	南房総市立三芳小学校 ※	神作 太郎	書道
	流山市立流山小学校 ※	櫻原 陸翔	暗算
	船橋市立宮本中学校 ※	森 水優	フルート
	佐倉市立西志津中学校 ※	三村 茉央	書道
	鎌ヶ谷市立鎌ヶ谷中学校 ※	山村 心花	絵画
	千葉県立佐倉東高等学校 ※	加藤 小春	洋裁
	千葉県立松戸六実高等学校 ※	星 萌々香	書道
	市川学園市川高等学校 ※	石黒 煌也	暗算
団体	習志野市立谷津小学校		管弦楽
	千葉市立土気中学校		音楽合奏
	柏市立酒井根中学校		吹奏楽
			音楽合奏
	芝浦工業大学柏高等学校 チーム260162K		Webコンテスト
	習志野市立習志野高等学校		吹奏楽
	船橋市立峰台小学校 ※		箏
	習志野市立大久保小学校 ※		マーチング
	けいさんぎのう ※		そろばん
	船橋市立西海神小学校 器楽部 ※		音楽合奏
	船橋市立海神小学校 弦楽部 ※		合奏
	船橋市立法田中学校 ※		マーチング
	習志野市立第二中学校 ※		マーチング
	習志野市立第四中学校 ※		マーチング
	船橋市立葛飾中行田中合同管弦楽 ※		合奏
	習志野市立第一中学校 ※		重奏
	柏市立柏高等学校 ※		マーチング

■千葉県議会 児童・生徒表彰受賞者(スポーツの部)

	学校(団体)名	氏名	備考
個人	船橋市立八栄小学校	山口 莉央	テコンドー
	船橋市立中野木小学校	常住 美結	ゴルフ
	酒々井町立酒々井小学校	江波戸 星空	レスリング
	市川市立大柏小学校	須藤 蒼一朗	レスリング
	市川市立中山小学校	佐藤 朱莉	レスリング
	富津市立飯野小学校	緒形 朔斗	空手
	船橋市立塚田小学校	吉田 湊海	空手
	市川市立北方小学校	鈴木 希華	卓球
	船橋市立八栄小学校	山口 尊正	テコンドー
	松戸市立梨香台小学校	河野 泰成	レスリング
	千葉市立上の台小学校	大浦 航	なぎなた
	流山市立江戸川台小学校	若尾 凱	一輪車
	流山市立江戸川台小学校	若尾 愛	一輪車
	印西市立木刈小学校	佐々木 駿介	レスリング
	成田市立久住小学校	秋山 一盛	レスリング
	習志野市立星敷小学校	千葉 和奏	空手
	船橋市立坪井小学校	七町 琉之助	テコンドー
	佐倉市立寺崎小学校	成澤 秀真	陸上
	一宮町立一宮小学校	石田 海夏	サーフィン
	佐倉市立根郷小学校	大場 然	カヌー
	浦安市立高洲小学校	市原 碧	カヌー
	香取市立新島小学校	柳町 美月	レスリング
	松戸市立古ヶ崎小学校	吉田 玲衣	レスリング
	柏市立酒井根小学校	太田 恵人	レスリング
	柏市立柏第四小学校	水澤 宏太	レスリング
	千葉市立西の谷小学校	鈴木 惟哉	なぎなた
	市川市立宮久保小学校	西岡 実咲	ボクシング
	柏市立大津ヶ丘中学校	染谷 陸	レスリング
	市川市立白子中学校	宇佐見 颯大	水泳
	九十九里町立九十九里中学校	板倉 遼	水泳
	市川市立下貝塚中学校	山根 有葵	水泳
	千葉市立こてはし台中学校	熊倉 鳳仁	一輪車
	松戸市立第五中学校	佐古 光優	レスリング
	野田市立第一中学校	古市 せら	レスリング
	船橋市立習志野台中学校	西塚 愛純	空手
	南房総市立南房総中学校	石井 有沙	サーフィン
	白子町立白子中学校	金田 歩積	テニス
	柏市立中原中学校	金澤 永和	レスリング
	松戸市立河原塚中学校	栗野 和夏	レスリング
	千葉市立白井中学校	仁科 優花	ゴルフ
	松戸市立小金中学校	石田 英優	フェンシング
	船橋市立七林中学校	森山 慧音	空手
	松戸市立栗ヶ沢中学校	佐藤 汰樹	弓道
	千葉市立幕張本郷中学校	近藤 優樹	剣道
	四街道市立四街道北中学校	後藤 大樹	陸上
	習志野市立第四中学校	小寺 慎之助	陸上
	木更津市立太田中学校	千葉 颯史	空手

	学校(団体)名	氏名	備考
個人	千葉県立幕張総合高等学校	鈴木 静玖	水泳
	中央学院高等学校	菊池 柚子	体操
	日本体育大学柏高等学校	片岡 優	レスリング
	市川学園市川高等学校	パログン ハル	陸上
	木更津総合高等学校	三木 清夢	柔道
	日本体育大学柏高等学校	大井 喜一	レスリング
	日本体育大学柏高等学校	北出 幸也	レスリング
	日本体育大学柏高等学校	田中 陸	レスリング
	昭和学院高等学校	吉川 颯姫	カヌー
	明聖高等学校	岡田 華英	新体操
	千葉学芸高等学校	三ヶ島 小夏	空手
	船橋市立船橋高等学校	高橋 諒圭	体操
	船橋市立船橋高等学校	角谷 太樹	体操
	日本体育大学柏高等学校	古市 大翔	レスリング
	千葉経済大学附属高等学校	中村 孔翼	自転車
	千葉県立八千代高等学校	齋藤 悠仁	陸上
	千葉学芸高等学校	浅野 慶太郎	空手
	船橋市立船橋高等学校	角皆 友晴	体操
	船橋市立船橋高等学校	坂東 優星	体操
	船橋市立船橋高等学校	馬場 央太	体操
	千葉県立八千代高等学校	安楽 宙斗	スポーツクライミング
団体	千葉学芸高等学校	大場 孔揮	空手
	桜林高等学校	糸日谷 凌央	少林寺拳法
	習志野市立習志野高等学校	片岡 雷斗	ボクシング
	習志野市立習志野高等学校	中崎 太相羅	ボクシング
	富津市立大貫小学校 ※	藤崎 秀馬	空手
	市川市立南行徳小学校 ※	新山 茉星	新体操
	佐倉市立志津中学校 ※	田中 羽音	カヌー
	茂原北陵高等学校 ※	弓削 南歩	ダンス
	稲毛インター		水泳
	佐倉市カヌー協会(猪幸樹・大場然)		カヌー
	鬼高剣友会A		剣道
	AquaRG海風の街		新体操
	外房チャアリーディングクラブ コースターズ99ブルー		チャアリーディング
	U16千葉県選抜女子リレーチーム		陸上
	ふなばしチャアリーディングクラブ SKEWES GEMSTONE		チャアリーディング
	拓殖大学紅陵高等学校		空手
	昭和学院高等学校		新体操
	桜林高等学校		ハンドボール
	船橋市立船橋高等学校		体操
	千葉黎明高等学校		ゴルフ

※3月28日に新たに13個人、12団体が表彰されました。

一般質問

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

千葉県議会 質問項目 2月

※榎本怜議員は、令和7年3月19日付で野田民主の会（野田氏）を設立しました。

1月31日（金）



立憲民
河野 俊紀 議員
(千葉市美浜区)

認知症対策
デジタル教育
南海トラフ地震
国民保護



自民党
木名瀬 訓光 議員
(野田市)

青少年の健全育成
大規模災害時の2次避難
県立学校の老朽化対策
野田橋周辺の交通円滑化



自民党
信田 光保 議員
(銚子市・香取郡東庄町)

高病原性鳥インフルエンザへの対応
地方創生総合戦略
銚子市沖洋上風力発電
農水産業の振興



自民党
西ヶ谷 正士 議員
(茂原市)

水道事業の統合
救急医療体制の整備
長生の森公園の整備
河川整備



公明党
鈴木 和宏 議員
(市原市)

高齢ドライバー対策
中小企業支援
子どもの性被害防止
フェイクニュース対策



自民党
小路 正和 議員
(勝浦市・いすみ市・夷隅郡)

フェーズフリー政策
鉄道問題
農林水産業の所得向上
スポーツ振興



国民 ※
榎本 怜 議員
(野田市)

ヤングケアラー支援
カスタマーハラスメント
県立関宿城博物館
県営住宅



自民党
雨宮 真吾 議員
(成田市)

成田空港周辺のまちづくり
国際感染症への対応
災害対策
北千葉道路問題等



自民党
野田 宏規 議員
(流山市)

学校教育
債権
県の広報
周産期および産褥期の施策



自民党
宮坂 奈緒 議員
(浦安市)

防災
視覚障がい者支援
看護問題
宿泊税

2月5日（水）



自民党
田中 幸太郎 議員
(市川市)

人口減少社会への対策
県内交通需要マネジメント
カーボンニュートラル推進
市川地域の諸課題



立憲民
伊藤 ちかこ 議員
(白井市)

主体的・対話的で深い学び
性暴力
PFAS汚染
医療



自民党
伊藤 寛 議員
(習志野市)

新型インフルエンザ等対策
行動計画の改定
キャリア教育
給水場における停電対策
印旛沼流域下水道の災害対策



自民党
小川 としゆき 議員
(千葉市若葉区)

物流政策
宿泊税
有害鳥獣対策と房総シビエ
歴史資産や文化資産の広域連携



自民党
高橋 秀典 議員
(旭市)

高病原性鳥インフルエンザ
耕畜連携
総武本線
防災へのドローン活用



自民党
今井 勝 議員
(我孫子市)

JR成田線の新駅設置
小児医療
介護人材
地域の諸課題

新しく選出された県議会議員(3月16日補欠選挙)



松戸市(立憲民)
関根 ジロー 議員



茂原市(自民党)
田畑 毅 議員



成田市(自民党)
小高 夕佳 議員



四街道市(無所属)
保坂 康平 議員



銚子市・香取郡・勝浦市(無所属)
加藤 裕太 議員

予算委員会が開催されました

2月10日(月)、12日(水)、13日(木)の3日間にわたり予算委員会が開催されました。

本委員会では、令和7年度予算議案について、横断的・多角的に審査が行われ、活発な議論が展開されました。



4月臨時県議会 知事あいさつ

先の知事選挙において、多くの県民の皆さまからの負託を受け、引き続き2期目の県政を担うことになりました。誠に光栄に存じますとともに、県民の皆さまから寄せられた期待と、私に課せられた使命、責任の重さをあらためて実感し、身の引き締まる思いです。

今を生きる県民の皆さんと、20年後、30年後の県民の皆さんからも評価いただけるよう、「県民を守り、支え、そして飛躍する千葉」の実現に向けて、県民の思いと英知を結集する存在として、最前線で汗をかいてまいります。



2月定例県議会 知事あいさつ

このたび提案致しました案件は、令和7年度当初予算案、令和6年度2月補正予算案、各種条例案およびその他附帯議案の79議案の他、報告3件です。

令和7年度当初予算案他

令和7年度当初予算は、3月に知事選挙を控えていることから、「骨格予算」として編成しました。

このため、当初予算には人件費、社会保障費、公債費等の義務的な経費と、総合計画の基本理念を実現するための取り組みのうち、継続して推進していくべき事業や、年度当初から着手することが必要な事業等を計上した他、新規事業であっても速やかに実施していくべき事業などについては計上しています。

政策的な判断を要する経費や、インフラ整備のうち新規着手分などについては、「肉付け予算」として、6月補正予算で対応したいと考えています。

また、令和6年度2月補正予算と一体的に編成することで、これらの取り組みを切れ目なく進めてまいります。

この結果、一般会計の予算規模は、2兆1,042億円となりました。

この他、当初予算案に計上した主な事業として「危機管理体制の構築と安全の確保」、「千葉経済圏の確立と社会資本の整備」などの概要説明がありました。

さらに、令和6年度2月補正予算案に計上した事業等について概要説明がありました。

主な議案の概要

議案第1号から議案第48号までの48議案は、一般会計および特別会計の予算案です。

次に、議案第49号から議案第66号までの18議案は、条例の制定および一部改正に係るものです。

また、議案第67号から議案第70号は、工事請負契約を締結するため、議案第71号から議案第73号は、工事請負の契約金額を変更するため、議案第78号および議案第79号は、高病原性鳥インフルエンザの防疫措置に係る補正予算の専決処分について承認を求めるため、それぞれ議会の議決を得ようとするものです。

その他、議案の概要および当面する諸問題等について報告がありました。

知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧になれます。

千葉県議会 知事あいさつ

令和7年6月定例県議会 会期および議事・委員会予定(素案)

月 日	議事・委員会予定	開議時間
5月28日(水)	開会 TV	午前10時
6月 3日(火)	質疑並びに一般質問 TV	//
4日(水)	// TV	//
5日(木)	//	//
6日(金)	//	//
9日(月)	//	//
10日(火)	//	//
11日(水)	//	//
13日(金)	予算委員会	午前10時30分
16日(月)	//	//
17日(火)	常任委員会(商工労働・県土整備)	午前10時
18日(水)	// (農林水産・文教)	//
19日(木)	// (総務防災・健康福祉)	//
20日(金)	// (総合企画企業・環境生活警察)	//
25日(水)	閉会	午後1時

※本案はおおむねの日程であり、招集日前の議会運営委員会でご協議されます。
※傍聴される場合は、議会ホームページで最新の情報をご確認ください。

TV … テレビでの生放送を予定しております。

パソコン、スマートフォンなどでインターネット中継をご覧になれます。

小宮明史議員逝去

小宮明史議員42歳(流山市選出 立憲民主党)が令和7年4月4日に逝去されました。

同議員は、令和5年4月に当選され、千葉県議会議員として県政の発展に貢献されました。

